

# 別子大争議勝利の爲めに……

## 總同盟の全力を傾注せよ!!

我が機關紙「労働」紙上及び諸新聞にて報導しつゝある、總同盟日本鑛夫組合別子鑛山支部は大資本家住友家の所有、四國別子銅山に於て、昨年十二月五日より争議を繼續してゐる。雪積り風吹き荒ぶ角野村の山麓に陣營を堅めた罷業團はあの年の暮れの難關を突破し、更に本年に入つて今尙一糸乱れず全力を舉げて戦つてゐる。

別子支部七百の兄弟達は年の瀬も、正月も、又三度の食事も總てを抛棄して、只住友を倒せ、鑛夫の勝利を期せど、連日ニギリ飯に空腹を満して、奮戦してゐるであります。

會社側の頑迷さは言語に盡す能はざる慘虐さを以て罷業團と對抗してゐる。

思ひ見よ！ 彼住友は全國一の大資本家である事を、されば後の地の警察は住友の番犬の如く振舞ひ、或は我が闘士を獄に投じ或は會社側の暴力團の行動を默認してゐる等を敢てしつゝある以外更に西條區裁判所檢事局の態度も亦奇怪極まるものである。

例へば「1 新田に於ける傷害事件の不起訴 2 黒石事件に於ける組合員の起訴 3 會社門前小競合に於ける組合員の起訴と會社備人の不起訴 4 所謂騷擾事件に於ける檢事の不公平」等枚擧に違なき有様であつて争議開始當初よりしての官憲の態度は悉く鑛山主側にも有利なる行動を敢てしつゝある。

斯くして正面には大資本家住友を敵とし裏面には官憲の不正と戦ひ又町より數里離れた山間に何等輿論の力もなく、我が別子支部大争議は惡戰苦闘四十有餘日を重ね來つた。

今や我が總同盟 關西同盟會及び關東同盟會は各地に檄を飛ばして或は決死の士を送り或は資金の輸送に努め又水平社農民組合及び地方有志等も亦最後の勝利を鑛夫側にと、全力を舉げて應援してゐる、日本鑛夫組合の死活問題たる本争議は又總同盟の大問題である。

本争議は、最早や最後の決戦に臨んでゐる。狼狽せる會社の惡辣なる術策も既に盡きた、只我等は争議團最後の結束を堅くし資金を充實して決死の闘士を激勵し、以て頑迷なる住友をして目に物見せんのみである。

各組合及支部諸兄よ！ 組合權の確立を目標として惡辣なる住友の切崩しに對抗して起る別子大争議は今や總同盟の全力的決戦によつて最後の運命を決すべき瀬戸際にある。

茲に總同盟中央争議部は組合員諸君相互扶助の熱情に訴へ本争議資金の充實を計る爲めに各組合が奮つて右資金の醸出を尤も急速に斷行せられ、總同盟全員の威力を如實に天下に示されん事を切望するものである。

大正十五年一月七日

### 日本労働總同盟本部

日本労働總同盟 會長 鈴木文治  
全 中央争議部 部長 望月源治